

2年連続！3人制プロバスケットチーム「TOKYO DIME」がココロミルの「ホーム心臓ドック®pro」を継続導入！選手とスタッフ全員に実施しチーム全体でヘルスケアを強化

なぜ今、プロアスリートに心疾患対策が必要なのか？睡眠とパフォーマンスの相関性や心疾患リスクの可視化で選手生命の延伸をサポート！アスリートを守りつつ彼らの健康管理を通じて予防医療の重要性を世の中に広める

医療×テクノロジーを融合し、「病気で後悔しない社会へ」をミッションに掲げる株式会社ココロミル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：林大貴）は、ウェアラブル心電計を用いた心電図解析サービス「ホーム心臓ドック®pro」を、3人制プロバスケットボールチーム「TOKYO DIME（東京ダイム）」のメディカルチェックにおいて導入したことを発表いたします。



本取り組みは、選手の睡眠とパフォーマンスの相関性を可視化するとともに、心疾患リスクの早期発見やコンディショニング管理により選手生命の延伸をサポートするものです。

なぜ今、プロアスリートに心疾患対策が必要なのか？

心疾患は日本人の死因第2位に位置しており、特に突然死のリスクは無症状で進行することが多く、発見が遅れがちです。

当社では提供する「ホーム心臓ドック®」で、これまで健康診断等では発見できなかった心疾患患者を、被験者の40%以上で発見して参りました。

アスリートにおいては、ハードなトレーニングや競技中の心身への負荷により、知らぬ間にリスクが高まるケースも見られます。

ココロミルが提供する「ホーム心臓ドック®」の検査統計においても、一般の方と比較して、プロアスリートの方々からは危険性の高い不整脈がより多く検出されております。

こうした結果からも、スポーツ現場における早期の心疾患リスク管理の重要性が改めて示されています。



医療×テクノロジーで“突然死ゼロ”を目指す——ベンチャー企業がプロアスリートの健康を支える「ホーム心臓ドック®pro」導入の背景と期待される効果

「ホーム心臓ドック®pro」、高精度なウェアラブル心電計を使用し、自宅にしながら長時間（最大24時間）の心電図データを取得。心拍変動から不整脈や心房細動、睡眠時無呼吸症候群、ストレス指標などを検知・可視化することが可能です。

選手が定期的に使用することで、心疾患の予兆を早期にキャッチするだけでなく、睡眠の質や精神的ストレスの変動も数値で把握し、パフォーマンスとの相関分析が可能になります。

また、注目度の高いアスリートの健康管理への姿勢を通じて、一般生活者に対しても予防医療の重要性や自宅での心電図検査の有用性を広く伝える啓発的な意義を持っています。

選手の健康意識が変わる——TOKYO DIME代表 岡田優介氏の声

「TOKYO DIMEでは、昨年より『ホーム心臓ドック®pro』をメディカルチェックとして導入してまいりました。

継続導入を決定した背景には、心身への高負荷がかかる3x3競技において、見えにくい健康リスクを可視化できたことの手応えと、選手自身の健康意識が高まったことがあります。

私自身も選手としてこの検査を体験し、見過ごしがちな睡眠の質や日々のストレスがデータに表れることに驚きました。定量的なフィードバックがあることで、日々のコンディション管理やリカバリー戦略を見直す大きなきっかけとなりました。

このような取り組みを通じて、選手一人ひとりが常に最高のパフォーマンスを発揮できるよう、今後も健康と安全の確保に努めてまいります。『ホーム心臓ドック®pro』の継続活用が、アスリートだけでなく、より多くの方々の健康意識向上につながることを願っています。

今後の展望：「予防医療を“日常”に」スポーツ、企業、教育機関と連携し社会全体へ波及を



「ホーム心臓ドック®pro」の活用はスポーツ現場での活用にとどまらず、企業や学校、家庭などにも広がる可能性を秘めています。

実際、心疾患は日本人の死因第2位でありながら、無症状で進行するケースも多く、発見が遅れがちです。特に、働き盛り世代や運動習慣のある人でもリスクを抱えていることは少なくなく、“体調が良い＝健康”という思い込みの危険性が指摘されています。

アスリートのように“体が資本”である人々が先行して自発的に検査を取り入れる姿勢は、多くのビジネスパーソンや一般生活者、若年層にとっても、予防医療の第一歩を考えるきっかけになり、特に企業や教育機関との協業は、健康意識の啓発、予防医療の普及にとって重要な意味を持ちます。

実際に、今回の導入にあたっては、選手のみならずスタッフ全員が検査対象となっており、チーム全体でのヘルスケア強化も図っています。

企業においては、従業員の健康管理が生産性やエンゲージメントに直結する「健康経営」の文脈で注目が集まっており、「ホーム心臓ドック®pro」を活用することで、業務に支障をきたす前の“未病”の段階で対処することが可能になります。

また教育機関では、部活動に励む学生や受験期のストレスが高い世代に対して、心身の状態を可視化することで自己管理能力の育成や将来的な健康リテラシーの向上にもつながります。

今回のプロアスリートの健康管理を起点としたこの取り組みが、社会全体の予防医療意識を高める一歩となることを目指しています。

株式会社ココロミルについて

●ホーム心臓ドック®



※画像はイメージです

「ホーム心臓ドック®」は、胸部に手の平サイズの心電計を装着し、心電図データを9時間以上取得します。機器が取得した心電図データは、臨床検査技師が解析してレポートを作成。医療機器を使用しているため、手軽に医療と同水準の検査を受けることができます。

長時間の心電図計測により、従来の健康診断や人間ドックにおける15秒ほどの検査では見つからない、隠れた心疾患リスクを発見することができます。「ホーム心臓ドック®pro」では、さらに睡眠の質やストレスを可視化し、睡眠時無呼吸症候群リスクの検知も可能です。

これにより、潜在的な健康リスクの早期対処と生活の質の向上が期待できます。

[ホーム心臓ドック®](#)：12,100円（税込）

[ホーム心臓ドック®PRO](#)：19,800円（税込）



株式会社ココロミル

「病気で後悔しない社会へ」をミッションに掲げ、自宅で長時間の心電図検査をすることで心臓病の早期発見が可能な「ホーム心臓ドック®」を提供しています。取得したデータを通じて、多くの方々が自分自身や家族の健康状態を可視化し、健康寿命やQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を向上させることを目指しています。

代表取締役社長：林 大貴

所在地：〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目2番16号 菅野ビル2F

設立：2021年11月

事業内容：ヘルスケア及び臨床研究事業

HP：<https://kokoromil.com/>

株式会社ココロミルのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/98284

〈本リリースに関するお問い合わせ先〉

株式会社ココロミル 広報部オオクラ

TEL : 03-5323-0010

Mail : prteam@kokoromil.com